

平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス

コード番号 2362 URL <http://www.vumeshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐藤 大央

TEL 03-5981-0672

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	3,005	12.8	394	46.1	476	68.7	310	75.0
24年9月期第1四半期	2,663	94.6	269	65.2	282	51.7	177	73.4

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 361百万円 (89.1%) 24年9月期第1四半期 191百万円 (78.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	5.27	5.23
24年9月期第1四半期	3.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	7,823	2,925	34.1
24年9月期	7,669	2,335	27.4

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 2,670百万円 24年9月期 2,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	1.50	—	2.50	4.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,400	17.8	950	59.8	970	51.9	550	39.7	9.39
通期	13,500	22.9	2,100	75.8	2,200	69.8	1,300	76.0	22.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期1Q	74,573,440 株	24年9月期	74,573,440 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年9月期1Q	14,532,486 株	24年9月期	16,032,485 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期1Q	59,048,563 株	24年9月期1Q	58,589,030 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等を下支えとし、緩やかな回復傾向がみられました。それに伴い、企業の設備投資や個人の消費動向にも復調の兆しが見えはじめています。しかしながら、欧州債務危機による金融不安や新興国の景気減速、国内では慢性的なデフレ経済、円高の影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、東北地方での復興工事は依然本格化しないものの、首都圏での改修・補修工事、耐震補強工事の増加、住宅ローン減税等の政策による、新設マンション着工戸数の増加等を受け、建設投資額もリーマンショック以前の水準に近づきつつあります。一方、このような市場環境に対し、ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」「若手不足」が深刻化しており、全国的に技術者が不足する事態が生じております。

エンジニア派遣事業における顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、デフレ経済、電力不足等の影響が続いているものの、一定の円高修正により輸出関連企業を中心に回復の兆しがありました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においては、ここ数年抑制していた各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。

このような事業環境の下、当社グループでは、建築技術者派遣事業において、建築技術者の全国的な需要拡大、東北復興の本格化に備え、採用活動を強化してまいりました。また、エンジニア派遣事業においては、需要の高まりをみせている分野のスキルを有する技術者の採用および育成、コスト管理の徹底、営業の効率化による稼働率の改善に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,005百万円(前年同四半期比12.8%増)、営業利益394百万円(前年同四半期比46.1%増)、経常利益476百万円(前年同四半期比68.7%増)、四半期純利益310百万円(前年同四半期比75.0%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建築技術者派遣事業

当社グループの中核事業であります建築技術者派遣事業におきましては、ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」「若手不足」の影響により、派遣需要は旺盛に推移いたしました。また、今後想定される全国的な建設需要の拡大、復興需要の本格化に備え、積極的に採用活動を行っており、その結果、当第1四半期連結累計期間にて135人の入社となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,892百万円(前年同四半期比26.5%増)、セグメント利益は375百万円(前年同四半期比51.9%増)となりました。

②エンジニア派遣事業

エンジニア派遣事業におきましては、主要顧客である製造業各社において、東日本大震災の影響等による生産の落ち込みから回復基調にありました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界において、ここ数年抑制していた各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。一方で、その他のメーカー各社においては、デフレ経済、電力不足等の影響により先行きが不透明となっております。

このような事業環境の下、需要の高まりをみせている分野のスキルを有する技術者の採用および育成、コスト管理の徹底、営業の効率化による稼働率の改善に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,005百万円(前年同四半期比6.2%減)、セグメント利益は91百万円(前年同四半期比6.0%増)となりました。

③子育て支援事業

子育て支援事業におきましては、待機児童が多く保育サービスの需要が高い東京都および神奈川県において、認証保育所を3箇所運営しております。また、併せて保育士の派遣を行っており、施設の提供ならびに人材の供給を実施してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は64百万円(前年同四半期比8.1%減)、セグメント利益は12百万円(前年同四半期比55.4%増)となりました。

④医療介護支援事業

医療介護支援事業におきましては、高齢社会が進む中、医療および介護サービスへのニーズが日ごとに増加していることを受け、デイサービス施設を東京都にて3箇所運営してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は43百万円(前年同四半期比64.6%増)、セグメント利益は9百万円(前年同四半期は、6百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて153百万円増加し、7,823百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加75百万円、投資有価証券の増加113百万円等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて436百万円減少し、4,897百万円となりました。これは主に借入金の減少140百万円、未払法人税等の減少307百万円等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて589百万円増加し、2,925百万円となりました。これは主に四半期純利益310百万円、剰余金の配当146百万円、自己株式の処分166百万円、自己株式処分差益210百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,557,679	2,633,138
受取手形及び売掛金	1,626,398	1,571,115
有価証券	7,046	9,600
たな卸資産	1,236	1,158
その他	575,958	567,249
貸倒引当金	△84,719	△77,631
流動資産合計	4,683,600	4,704,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	738,776	780,595
その他(純額)	673,401	639,789
有形固定資産合計	1,412,178	1,420,385
無形固定資産		
のれん	628,411	607,558
その他	37,834	34,182
無形固定資産合計	666,246	641,741
投資その他の資産		
投資有価証券	688,605	802,433
その他	305,455	304,609
貸倒引当金	△86,255	△50,790
投資その他の資産合計	907,805	1,056,252
固定資産合計	2,986,230	3,118,378
資産合計	7,669,831	7,823,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,133	13,222
短期借入金	975,331	1,250,332
1年内返済予定の長期借入金	850,844	580,844
未払法人税等	442,473	135,353
賞与引当金	176,867	84,027
その他	942,401	1,040,291
流動負債合計	3,402,051	3,104,070
固定負債		
長期借入金	1,509,223	1,364,012
退職給付引当金	254,959	257,764
資産除去債務	3,204	2,953
その他	164,707	168,709
固定負債合計	1,932,094	1,793,439
負債合計	5,334,146	4,897,510

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	867,545	1,078,032
利益剰余金	2,262,103	2,426,688
自己株式	△1,789,972	△1,623,472
株主資本合計	2,144,823	2,686,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,302	△16,208
その他の包括利益累計額合計	△46,302	△16,208
新株予約権	10,511	8,523
少数株主持分	226,652	246,787
純資産合計	2,335,685	2,925,499
負債純資産合計	7,669,831	7,823,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,663,996	3,005,592
売上原価	1,924,486	2,111,889
売上総利益	739,510	893,703
販売費及び一般管理費	469,647	499,353
営業利益	269,862	394,349
営業外収益		
受取利息	917	915
受取配当金	1,669	4,576
投資有価証券売却益	—	14,954
受取家賃	19,356	18,852
補助金収入	29,997	39,183
その他	9,321	29,461
営業外収益合計	61,261	107,945
営業外費用		
支払利息	16,257	16,071
賃貸収入原価	6,538	6,369
社債償還損	15,266	—
その他	10,301	2,948
営業外費用合計	48,364	25,389
経常利益	282,759	476,906
税金等調整前四半期純利益	282,759	476,906
法人税、住民税及び事業税	55,686	131,908
法人税等調整額	35,170	18,731
法人税等合計	90,857	150,640
少数株主損益調整前四半期純利益	191,902	326,266
少数株主利益	14,183	15,328
四半期純利益	177,719	310,937

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	191,902	326,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△901	34,900
その他の包括利益合計	△901	34,900
四半期包括利益	191,000	361,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176,817	341,031
少数株主に係る四半期包括利益	14,183	20,135

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	1,495,268	1,072,260	70,302	26,165	2,663,996	2,663,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,495,268	1,072,260	70,302	26,165	2,663,996	2,663,996
セグメント利益 又は損失(△)	247,281	85,874	7,924	△6,374	334,705	334,705

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	334,705
のれんの償却額	△20,665
全社損益(注)	△31,280
四半期連結損益計算書の経常利益	282,759

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない、当社の管理部門にかかる収益及び費用です。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2 当第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	1,892,223	1,005,698	64,612	43,057	3,005,592	3,005,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,892,223	1,005,698	64,612	43,057	3,005,592	3,005,592
セグメント利益	375,655	91,031	12,317	9,178	488,182	488,182

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	488,182
のれんの償却額	△20,853
全社損益(注)	9,577
四半期連結損益計算書の経常利益	476,906

(注) 全社損益は、主として報告セグメントに帰属しない財務関連の損益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第1四半期連結会計期間において、第1回新株予約権の一部が行使されたこと等により、資本剰余金が210,487千円増加、自己株式が166,499千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,078,032千円、自己株式が△1,623,472千円となっております。